

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	高齢者等の生活支援事業	会計	介護保険	事業No.	228	施策順No.	35-037
		事業種別	政策・その他	予算科目	5-2-1-50-8		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	介護高齢課		
施策	35 高齢者福祉の推進			事業期間	開始	12	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	要介護3, 4, 5の認定を受けた方で在宅で介護を受けている方						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		要介護3, 4, 5の認定を受けた方で在宅で介護を受けている数						
意図	重度要介護者が在宅において衛生的に過ごせるため、サービスを申請し利用してもらう。介護者の負担も軽減される。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	寝具洗濯乾燥サービス事業 利用率 利用者実数/対象者数×100	12	10	12	15	10	15	B
	訪問理美容サービス事業 利用率 利用者実数/対象者数×100	7	7	11	10	6	15	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	利用度の低下傾向に歯止めがかかった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	寝具洗濯乾燥サービス事業: 要介護3, 4, 5の認定を受けた方等で在宅で介護を受けている方に対し、常に臥床状態で使用する布団の衛生を保つため、1人年間敷布団2枚まで、洗濯乾燥を行う。 訪問理美容サービス事業: 要介護3, 4, 5の認定を受けた方等で在宅で介護を受けている方に対し、訪問による理美容又は美容を受ける際にかかる費用のうち1回1,000円を助成する。1人年間6回まで。 住宅改修理由書作成手数料: 居宅介護住宅改修費及び居宅支援住宅改修費の支給申請に係わる理由書を作成した者に対し助成金を交付。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	4月初日現在の対象者に対して、4月中旬に、サービス案内の通知と申請書を発送する。申請のあった方に対して助成。また、対象者の新規・更新等による介護被保険者証発送時に案内の通知を同封する。 居宅介護住宅改修費及び居宅支援住宅改修費の支給申請用理由書を作成した者に助成金を交付する。	①対象者数 寝具洗濯乾燥 ②利用回数 ③利用者数 訪問理美容 ④利用回数 ⑤利用者数 理由書作成 ⑥作成者数	①1,650人 ②288回 ③169人 ④301回 ⑤105人 ⑥32人
23年度実施計画	4月初日現在の対象者に対して、4月中旬に、サービス案内の通知と申請書を発送する。申請のあった方に対して助成。また、対象者の新規・更新等による介護被保険者証発送時に案内の通知を同封する。	①対象者数 寝具洗濯乾燥 ②利用回数 ③利用者数 訪問理美容 ④利用回数 ⑤利用者数 理由書作成 ⑥作成者数	①1,650人 ②300回 ③200人 ④350回 ⑤110人 ⑥40人

3 事業コスト

事業費	特定財源	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 地域支援事業交付金の任意事業 国40% 県20% 市20% 1号保険料20%
	国庫支出金	802	453	802	
	県支出金	401	226	401	
	起債				
	その他				
一般財源	803	454	803		
計 (A)	2,006	1,133	2,006		
正規職員所要時間					
臨時職員等所要時間					
人件費計 (B)		0			
トータルコスト A+B		1,133			

4 事業に対する市民や議会の意見

寝具洗濯乾燥サービス事業については、利用者から、敷布団だけではなくベッドマット等対象範囲を広げて欲しいという意見がある。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせる高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	介護を受けている方の身体や寝具の衛生を保つことに役立っている。
	後期に向けた課題	敷布団の使用が減少しているため、全体としては布団丸洗いの必要性が低下しつつある。
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	事業者連絡会等で、利用推進への協力を呼び掛けている。
	後期に向けた課題	民生委員会他関係諸団体の会議でも利用推進への協力を呼び掛ける。
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	民間事業者の業務を利用することにより、効率良く事業を実施している。
	後期に向けた課題	利用者にとって更に効果的な事業となるよう、内容を再検討し、相対的にコストを低減させる。
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者、市とも少ない負担で生活支援に役立っている。
	後期に向けた課題	主として民間事業者の業務の中で実施されており、市は費用負担のみ、関与の程度は適切である。
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	民間業者の業務を利用している。 市の関与は必要最低限となっている。
	後期に向けた課題	基本的には従来の方法を継続しつつ、更に利用者増加を図る。
全体を通じて	4年間の振り返り	従来からの利用者には好評だが、利用者数自体は伸び悩んでいる。
	後期に向けた課題	事業内容や、利用申請方法を再検討し、介護者が利用しやすいように工夫する。

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------